



ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健
R7学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/kivosedaijohuuegakkou/index.htm>

11/2は『^{のち}後の月^{つき}』秋の名月「十三夜」でした。

10月は、天候に恵まれずに、流星群も2つの彗星も、厚い雲に阻まれて、残念ながら観測できませんでした。中秋の名月はかろうじて、雲間から顔を出してくれました。平安時代の貴族は、お月見をよくしていたようですが、秋の名月には2つあったそうです。一つ目は旧暦8月15日の「中秋の名月（十五夜）」ですが、もう一つは約一月後、旧暦9月13日の「後の月（十三夜）」で、この月は満月の前々日で、月の左側が少し欠けており、この日も、観月の宴を開いていたそうです。十五夜の月見は大陸から伝わった風習で、十三夜は、日本人の和の心から生まれた風習のようです。



月齢13の月

「この世をば 我が世とぞ思ふ 望月の 欠けたることも 無しと思へば」 藤原道長

これは平安中期に、娘が天皇の后になった祝いの宴で、政権を握っていた藤原道長が、詠んだ歌です。望月（もちづき）とは満月の古称で、「満月に欠けたところがないように、この国はすべて、私が思うままである」と一族の権勢を驕ったものとの解釈されています。しかしこの祝宴は、十五夜（満月）の翌日、旧暦10月16日に開かれていて、十六夜の月だったことから、満ち足りた絶頂期の「自分の世」と、満月を過ぎて欠けてきた「この夜」を対比して、栄華の頂点に達したことへの憂いを詠んだのでは？との解釈もあるようです。

「不完全で、足りないことへの価値」

「1票足りないというのは、すごく良かったと思います。色々なことが足りない、自分なりの完璧を追い求めて進んでいくのが人生だと思うんです。やっぱり不完全であるというのは良いなど。生きていく上で、不完全だから進もうと出来るわけで、そういうことを改めて考えさせられ、そこに向き合えるのは良かったなと思います。」

これは昨年、アメリカの「野球殿堂入り」をしたイチローさんの記者会見での言葉です。殿堂入りは大リーグに貢献した人を称える野球選手にとっては名誉な賞で、400名ほどの野球に精通した記者による投票で決めるそうですが、1名だけイチローさんに入れなかった方がおり、そのことについて聞かれた時のコメントです。

日本人の思想・「和の心」に流れるもの

日光東照宮の陽明門に「逆さ柱」が一本あるのは有名な話です。姫路城天守閣の瓦に、家紋が上下逆になっているものが一つあるそうです。京都の知恩院には、建立時から屋根の上に4枚の瓦が残されたままになっているそうです。『月満つれば則ちかく』満月になった月がしだいに欠けていくように、栄華を極めた後は、衰退していくものである。」とのことわざがありますが、「意識的に未完成のままにして、未来へむけて発展を続けていくことを願う」という思想の下の風習のようです。茶道の「侘び寂び（わびさび）」のように日本人の思想には、不完全なもの、未完の状態に意味や価値を見出すという考えがあり、自分が不完全だと思うからこそ、次に向けての希望が湧き、努力ができる。人は誰もが不完全であることを自覚すれば、周りの人への感謝や、協力することの大切さを知ることができる。ということのようです。

そして明日は、最大の満月 SUPER MOON !

一昨日の11/2は旧暦9月13日で、秋の名月「後の月（十三夜）」でした。そして、明日の11月5日は満月です。しかも、今年最大の満月、スーパームーンです。一年間に満月は基本12回ありますが、月の軌道が楕円のために38万±2万kmと距離が異なり、今回が一番地球に近い満月です。今年最少の満月は4月13日で、比べると、見かけの直径は14%も大きく、30%も明るくなります。春より秋の方が空気も澄んでいるので、なおさらです。



■目指せ、3級&準2級！ 2級チャレンジも！【漢検】 10/24(金)

10/24(金)の放課後16:00より、国語科の先生方が、本年度2回目の漢字能力検定を実施して下さいました。今回の受験は、3級・準2級・2級の3つの級に、合計で35名の生徒が挑戦しました。

各級の難易度は、3級が中学卒業、準2級が高校在学、2級が高校卒業程度とされており、取得したら履歴書にも書ける資格として社会での認知度も高くなっています。試験では、漢字の読み・書きの知識だけでなく、意味や用法など文章力も問われるので、国語力の目安として、入試の際に成績の目安として考えてくれる高校や大学等もあります。特に自己アピールがポイントとなる推薦入試や、採用面接などでは、チャレンジ意欲や学習意欲など向上心としても捉えてくれます。目指せ3級 & 準2級！



■3学年 三者面談 & 面接練習 実施 10/27(月)~31(金)

先週の1週間、3年生は午前授業で午後に、進路についての三者面談を実施しました。各学校で行われる夏のオープンスクールや学校体験、秋の学園祭などに参加をされたり、10月頃から始まっている学校説明会や相談会に出向かれたご家庭も多く、現在の志望や今後の学校説明会の参加予定、そして11月末の期末考査、内申が出た後の12月三者面談へ向けての相談を行いました。そして授業カットをしたこの午後の時間を利用して、副担任の教員が面接官役となり、面接の練習も行いました。12月の三者面談期間中にも、面接練習を予定しています。



●箏(こと)の音色が響く秋 2年生音楽

2年生の音楽の授業では、和楽器の単元で、昨年に続き、箏(こと)の課題に取り組んでいます。昨年の授業を思い出しながら、二人一組で1面の箏を使って、五線譜とは違う漢字表記の楽譜を見ながら、音楽室に和楽器特有の音色を響かせていました。



※上のQRコードより、授業の様子をご紹介します。限定公開で公開期間は11/14(金)までです。

●11/20は「世界子どもの日」 unicef 募金活動 生徒会活動 10/27(月)~30(木)

本年度の道徳授業地区公開では、日本ユニセフ協会の方をお招きしての国際理解をテーマにした講演会を実施しました。2年生の総合では、服のカプロジェクトで難民支援を進めるアパレルメーカーの方の講義を受けました。世界の中には生徒の皆さんと同じ年代でありながら、国際紛争や政治経済の混乱などで、困難な生活をしている子供たちがいることを学びました。

生徒会役員会では、先週の月曜日から木曜日まで(金曜日は1年生が校外学習で不在のため)の4日間を朝、校内ユニセフ募金活動を実施してくれました。

そして11/20(木)は、国際連合が「子供たちの相互理解と福祉を推進する日」として定めた『世界子どもの日』です。



●清瀬十小「秋の運動会」を参観させて頂きました。 11/1(土)

11/1(土)に、小中連携教育を共に進めている清瀬第十小学校さんの第48回運動会が開催されました。開会式から午前の途中まで参観をさせて頂きました。全部で25種目もあり、次から次へと登場する児童の皆さんは、ハツラツとしていて、校庭で輝いていました。低学年の笑顔が弾ける表現種目を見ている観客の皆さんも笑顔が弾け、真剣勝負となる中・高学年の個人・団体種目には、熱い声援を送られていました。6年生の団体種目は、五中で実施している「8の字跳び」でした。児童の皆さんと地域・保護者の皆さんそして教員の方々が一体となった活気あふれる運動会を見学させて頂き、感謝いたします。ありがとうございました。

